

平成二〇年度名誉総裁表彰式典を挙行

(社)日本水難救済会では、本年五月二〇日、東京の海運クラブにおいて、本会の名誉総裁 高円宮憲仁親王妃久子殿下 のご台臨を賜り、平成二〇年度名誉総裁表彰式典を挙行しました。

受賞者の決定に当たっては、名誉総裁表彰審査委員会をお願いしている岩崎貞二海上保安庁長官、大山高明(株)日本海事新聞社社長、新谷功(社)日本海洋少年団連盟会長、牧島功(特)神奈川県水難救済会会長、相原力本会会長の五名の方々に慎重に審査して頂き、その後、名誉総裁のご裁可を得て、海難救助功労三団体三個人、事業功労一団体及び洋上救急功労一団体の方々が、晴れて受賞の榮譽に浴することになりました。

当日の式典では、ご多忙の中、ご出席いただいた冬柴国土交通大臣、岩崎海上保安庁長官、琴陵金刀比羅宮宮司をはじめ、当会理事や会員、関係団体からの参列者約一三〇名が見守るなか、名誉総裁から団体に対しては名誉総裁盾が、個人に対しては名誉総裁章が直接手渡されました。

また、式典のはじめには、国土交通大臣と金刀比羅宮宮司からご祝辞をいただき、式典の最後には、受賞者を代表して、高知県水難救済会宿毛救難所の浦尻所長が謝辞を述べました。

引き続き行われた懇親会には、約一六〇名の方々が出席され、名誉総裁におかれては、受賞者などと親しくご懇談していただきました。

